

保護者対象「三暘の子いきいきアンケート」の結果と考察



回収率は、85.9%でした。
お忙しい中、アンケートにご協力いただき
どうもありがとうございました。

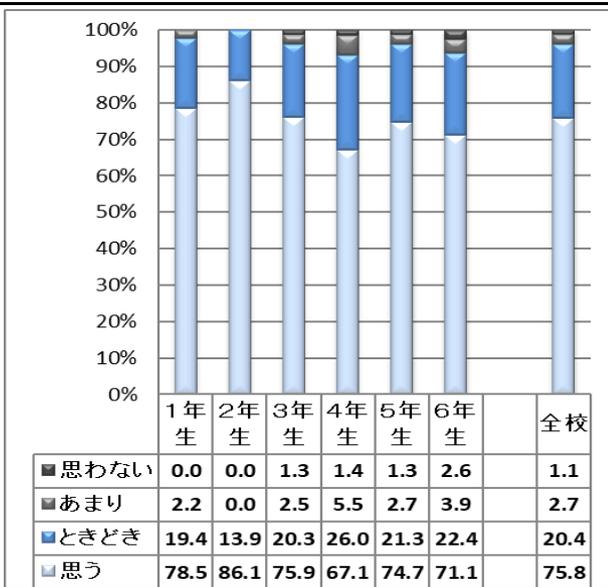
【全体的な考察】

数値的には、肯定的な回答（思う・ときどき）が90%を超える項目が、10項目中6項目ありました。家庭での「三暘しぐさ」実践の項目については、約60%にとどまりました。児童用アンケートでは、ほとんどの学年で80%以上が肯定的な回答をしていることから、今後も引き続き、家庭に向けた周知や実践の働きかけに一層取り組んでいく必要があると考えています。

学校は家庭、地域との協力を得ながら教育を行い、関わり合い、学び合いを通して、様々な経験や学習を積み重ねながら、一人ひとりの成長を支えていく場所です。集団生活を通してコミュニケーションやきまりを守る力、相手を思いやる心の育成にも努めています。今後もこの目指す子どもの姿を達成するために、家庭、地域と一体となって教育にあたっていきます。

今回のアンケートを通して、保護者の皆様の評価や声を本校の学校教育のより良い改善・充実のために生かしていきたいと考えています。学校の教育目標の達成は、学校だけでできるものではありません。家庭や地域と学校は、目指す子どもの姿を共有し、連携・協働していく関係です。相互に補完し合い、信頼し合う関係づくりを一層進めていきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

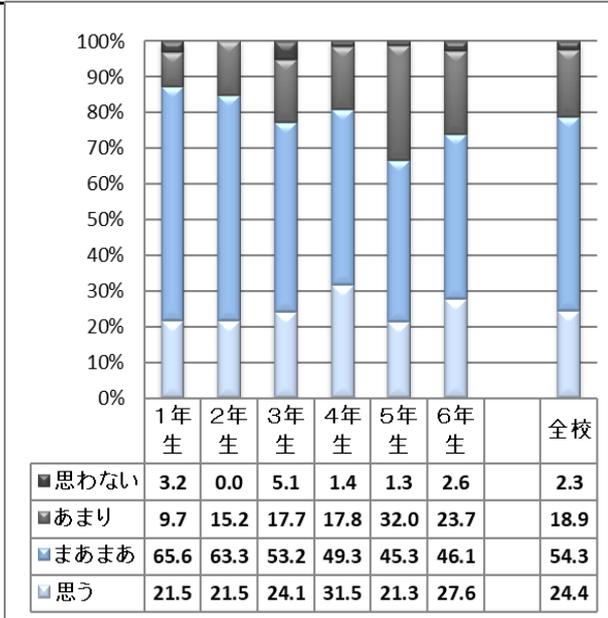
① お子さんは、楽しく学校に通っていると思いますか？



「思う」と「ときどき」を合わせると96.2%（昨年度96.7%）という結果です。昨年度並みの高い評価となりました。「思う」の割合が75%を超えたこともうれしい結果です。この割合が増えるように、教師と子ども、子ども同士の関わりを引き続き大切にしていきたいと考えています。また、子どもの様子について、日頃から家庭と学校が連絡をとり合い、話し合う機会を大切にしていきたいと考えています。

わかる喜びやできる嬉しさがある授業が楽しいと思える学校の基盤となり、学校が安全で心理的に安心できる場所であることが楽しさの前提につながります。今後とも支持的風土を育みながら、学校に通うことが一層楽しいと思えるようにしていきたいと思えます。

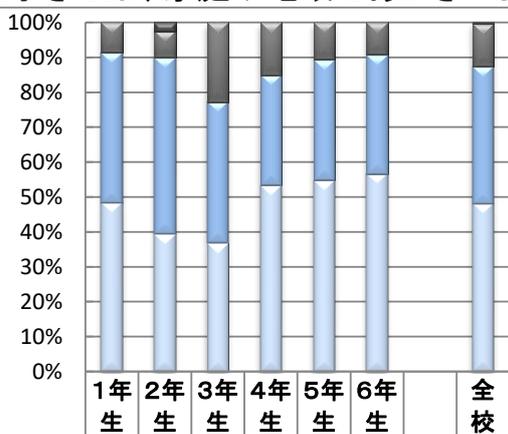
② お子さんは、家庭での学習の習慣が身についていると思いますか？



「思う」「まあまあ」を合わせて78.7%（昨年度82.7%）でした。三小では家庭学習（宿題＋自主学習）のめやすの時間を「10分×学年」以上としています。ワークテストなどは事前に期日等をお知らせし、めあてをもって準備が進められるようにしています。また、スキルアップテストは、短いスパンで実施し、基礎基本の定着を図っています。タブレット端末を活用した学びや各自の課題に合った学びは、今後も一層進めていきます。

「家庭学習のてびき」（入学時に配付・学校HPにも掲載）には、学校と家庭が協力して子どもの「進んで学ぶ力」を育てるために、各学年の発達に応じた「学び方」や具体的な「勉強の仕方」が掲載されています。ぜひ参考にいただき、今後とも家庭での学習環境づくりをお願いしたいと思います。

③ お子さんは、家庭や地域であいさつしていますか？



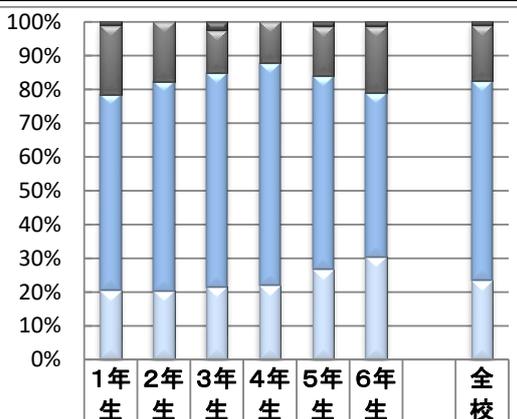
■ していない	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
■ あまり	8.6	7.6	22.8	15.1	10.7	9.2	12.2
■ ときどき	43.0	50.6	40.5	31.5	34.7	34.2	39.4
■ している	48.4	39.2	36.7	53.4	54.7	56.6	48.0

肯定的な回答（「している」「時々」）は全体で87.4%（昨年度92.2%）と数値的には高いですが、ここ数年で比べても低めでした。児童のアンケートでは、下学年の方が「している」割合は高い傾向が見られます。

今年度も「笑顔輝く粋な三暘の子」の育成につなげるために、進んであいさつのできる子の育成を重点目標のひとつに掲げています。また、児童会活動でも、三暘しぐさの1つでもある「にこにこあいさ2」に関する取り組みを進めてきましたが、意識化にはもう一步の様子も見られます。

今後とも「あいさつをすることの心地よさ」を感じる経験の積み重ねを大切にしていきたいと考えています。ぜひご家庭や地域でも、あいさつの声が自然に交わせる雰囲気づくりにご協力いただければと思います。

④ お子さんは、自ら気づき・考え・行動することができていると思いますか？

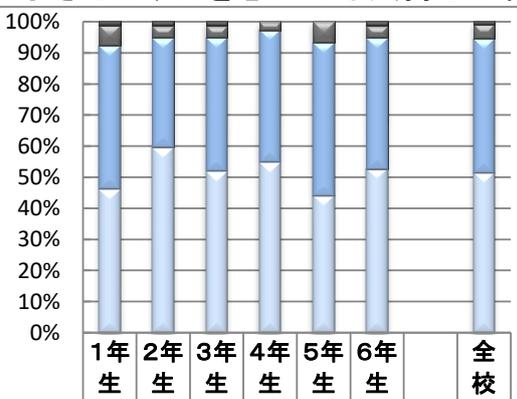


■ 思わない	1.1	0.0	2.5	0.0	1.3	1.3	1.1
■ あまり	20.4	17.7	12.7	12.3	14.7	19.7	16.4
■ まあまあ	58.1	62.0	63.3	65.8	57.3	48.7	59.2
■ 思う	20.4	20.3	21.5	21.9	26.7	30.3	23.4

本年度の重点目標の一つとして掲げて2年目となる「自分たちで落ち着いた生活をつくる」ことについては、「思う」「まあまあ」が82.6%（昨年度84.7%）と、昨年度並みの結果でした。

これからの学校教育では、自ら課題を発見し、自ら判断して他と協働しながらよりよく解決していく力の育成が求められています。学習面では自分たちで協働し話し合いながら主体的に課題解決をする力を、また、生活面では自分の気持ちや行動をコントロールする力や友だちと気持ちよく過ごすためのルール意識を育て、安心して過ごせる雰囲気づくりを進めていきたいと考えています。日々の場面で、子どもたちが気づき・考え・行動することを大切にしたい取り組みを進め、自律性を高めてまいります。

⑤ お子さんは、人を思いやる気持ちが育っていると思いますか？



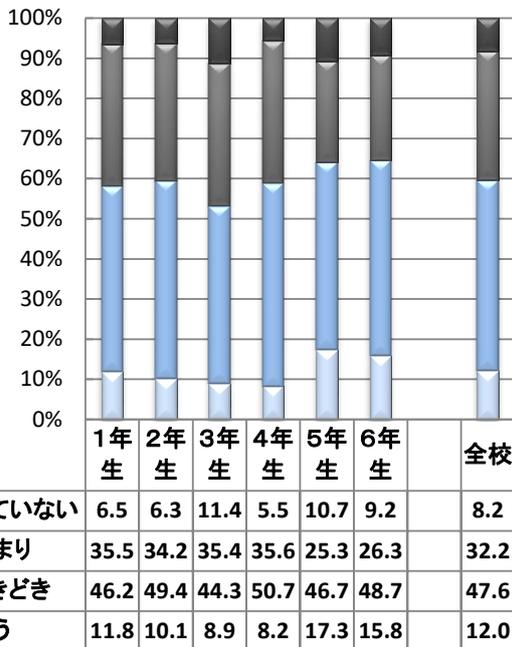
■ 思わない	1.1	1.3	1.3	0.0	0.0	1.3	0.8
■ あまり	6.5	3.8	3.8	2.7	6.7	3.9	4.6
■ まあまあ	46.2	35.4	43.0	42.5	49.3	42.1	43.2
■ 思う	46.2	59.5	51.9	54.8	44.0	52.6	51.4

「思う」「まあまあ」が94.6%（昨年度94.9%）と、昨年度と同様に高い結果でした。「思う」が「まあまあ」を上回っておりうれしく感じます。

日頃から子ども達が家庭や地域で大切に育てられ、思いやりの心が育まれていること、道徳の時間の学習や「三暘しぐさ」等の取り組みによって、思いやりや助け合いの大切さを実感し、人を大事にする心が育まれてきたことが、思いやりのある子どもたちの姿となっているのではないかと思います。

自らの行動や言動を振り返り、気づかせる指導を心がけながら、思いやりの気持ちを深め、その思いを行動に表していくことができるように、今後も学校・家庭・地域が、同じ姿勢で指導にあたっていきたいと思っています。

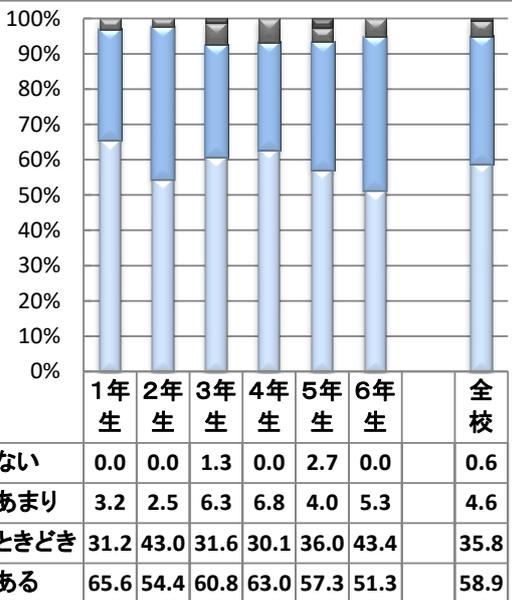
⑥ ご家庭でも「三陽しぐさ」を意識して実践していますか？



「ある」「ときどき」が59.6%（昨年度64.1%）と、低下しています。4割以上の方がまだ課題があると捉えていることもうかがえる結果となりました。

学校では、3のつく日（3・13・23・30日）を「三陽しぐさの日」として、廊下にのぼり旗を設置したり、学級でその日のめあてを決めて取り組むなどして意識化を図っています。三陽しぐさには17の行動があります。1年生の入学時には、各家庭にポスターを配付して内容の周知に努めてきました。さらに広く知ってもらうためにも再配布したり、積極的に呼びかけている児童会の取り組みと足並みを揃えながら、「三陽しぐさ」が子ども達の身近な行動目標として身につけていくよう粘り強く取り組んでいきたいと考えています。家庭でも「三陽しぐさ」を意識していただきながら、子ども達の心を耕し、成長させていただければと思います。

⑦ 学校からのお知らせやお便りなどを通して、学校の様子や活動の様子を親子でお話することができますか？



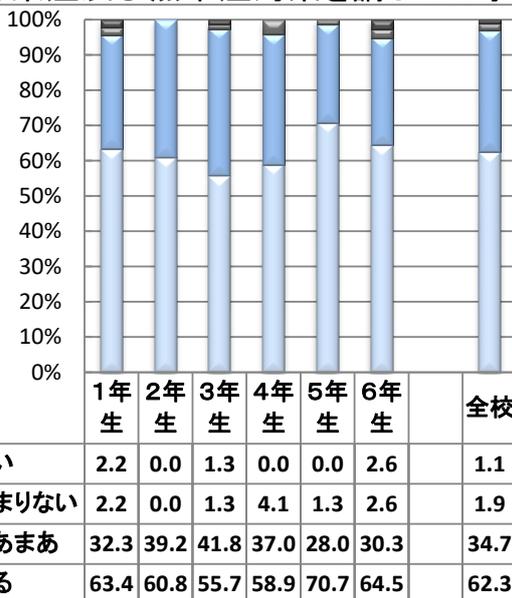
肯定的な回答が全体の94.7%（昨年度92.2%）と高い割合となりました。

担任や学年で発行している学級だより・学年だよりの他、学校からも学校だより、保健だより、図書だよりを発行しています。（学校だよりは、今年度からメールでの配信）

学級だよりでは、週予定など必要な情報とともに、クラスの様子が見えるような内容を心がけて発信しています。これらの情報をきっかけにご家庭で学校・学級のことを話題にコミュニケーションをとっていただくことは、学校でのお子さんの様子を知る上で、また心の状態を知る上でも大切なことだと考えています。

今後ぜひ、学校からの情報を話題のきっかけにして、家庭での親子のコミュニケーションにつなげていただけたら幸いです。

⑧ 感染症及び熱中症対策を講じての学校行事の持ち方は適切だと思いますか？

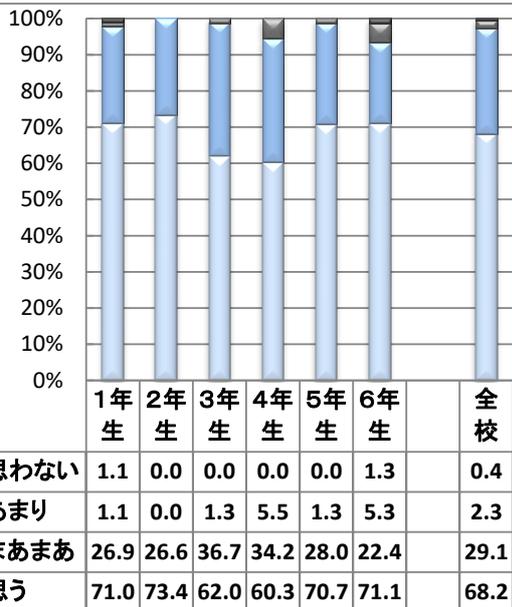


「思う」「まあまあ」が97%（昨年度99%）と昨年度同様に高い結果となり、学校行事の持ち方については、概ね肯定的な評価を多くいただきました。

11月の授業参観は感染症の拡大傾向が見られ、やむなく中止の判断をいたしました。今後も罹患状況を鑑みて、交流を伴う活動や動線などに配慮したり、手洗いやマスクの励行、常時換気を心がけたりしていきます。熱中症については、対策マニュアルに基づき、暑さ指数（WBGT）の計測をこまめに行って活動の可否を判断したり、水分補給の指示をしたりしています。

今後も必要な対策をとりながら、学校行事や活動のねらいにふさわしい方法を工夫して実施していきたいと考えております。子どもたちの心身の成長に資する行事や活動になるよう努めてまいります。

⑨ 担任と保護者が話し合う機会(個別面談・授業参観・保護者会・教育相談など)は適切に設けられていると思いますか？



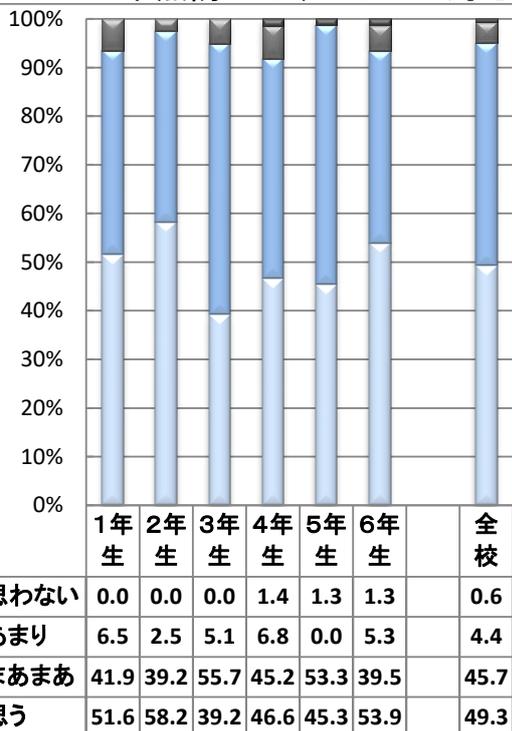
97.3% (昨年度98.5%)と昨年度とほぼ同様に肯定的な評価をいただきました。

授業参観では、多くの保護者の皆様にお子さんの学習の姿を見ていただくことができました。懇談会やPTA親子行事も各学年で持ち方を工夫して設定し、担任と保護者、また保護者同士がお互いを知る意味でも貴重な機会となりました。

個別面談は、お子さんの頑張りなど具体的な様子について担任と情報交換をしたり、よりよい成長につなげるために共通理解を図ったりすることができました。定例の面談は短時間での設定ですので、じっくり相談したい等のご希望の際はご連絡ください。

教育相談は、子育ての悩みや相談事などに対応できるよう実施しておりますが、相談日以外でも随時対応しておりますので、今後もお気軽にご連絡ください。

⑩ いじめの未然防止や、いじめの対応は適切に行われていると思いますか？



95% (昨年度95.6%)が肯定的な評価でしたが、今年度も12月までに179件(昨年度149件)のいじめを認知したことから、依然としていじめがあることは事実です。

学校では「いじめをしない・させない」を重点指導とし、教育活動全体を通じた道徳教育に取り組み、自分自身や他者を尊重する心を育てています。

いじめの報告があった場合は、担任だけでなく管理職も交えて対応を検討しております。また日常の対応に加え、年2回のいじめアンケートや児童教育相談の機会も大切な確認の場ととらえています。

今後も一層アンテナを高くし、未然防止・早期発見・早期解決に向けて丁寧な対応を心がけるとともに、教職員一人一人のいじめ防止のための生徒指導力の向上を図ってまいります。

お子さんの心配な様子が見られた場合は、早めにご相談ください。また、ご家庭での「いじめをしない」指導も併せてお願いいたします。